

2019年度 事業報告書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

特定非営利活動法人なでしこ会

1 事業の成果

なでしこ共同作業所の運営については、1名が卒業、1名が利用休止となりましたが、新規利用が1名ありました。平均年齢63歳と高齢ではありますが、みなさんほぼ毎日通所され、作業を通して社会参加をしています。

作業の繁忙期には、みなさん休憩を惜しむように作業に没頭し、納期を守ってきました。しかし、3月以降は新型コロナウイルスの影響で各種作業がストップし、今後に不安を覚えたまま年度を終えることとなりましたが、利用者の日中の居場所の確保が継続できるよう努めてまいります。

岡山市から指定を受けて管理している障害者生活支援センターでは、社会資源の少ない岡山市北区北地域でも当事者一人一人のニーズに対応できるよう、他機関と連携を深めて支援をしています。

所内で利用できるプログラムとして自由に台所を使えるオープンキッチンの日を毎週月曜日に固定していましたが、随時開催に変更しました。調理体験が必要な方が利用しやすくなり、3名の方が昼食作りに挑戦されました。

なでしこ共同作業所で行っている「さをり織り」の織機をこら～れ内にも置かせてもらい、織物ボランティアを行えるよう整えました。3名の方が来所した際、それぞれのペースで作業を行っています。

また、来所が困難な利用者に対して行っている自宅訪問で、希望があればミニ作業を持ち込む試みをはじめました。ミニ作業は就労や作業所通所へのステップとして行っているプログラムで、地域の事業所から園芸用木片チップを預かり、異物を取り除く作業です。社会との関わりを取り戻す機会になればと実施しました。2名の方が挑戦されています。

地域交流事業では、毎年恒例の「ふくわたり・ふれあい・ふくし祭り」の11回目を予定していましたが、当日に雨天が予想されたため中止となりました。準備段階では地域の福祉事業者の新たな参画、地元商店からの協賛、小中学生の会場ボランティアなど新たな取り組みができていただけに残念な結果となりました。

3年目となるパソコン教室は「たけべのちっちゃなパソコン教室」と名前を変え、月に1回ペースの教室と、随時の相談を受け付ける形で実施しました。今年は町内会の会計・事務担当者の交代により滞ってしまった作業を支援するケースがあり、地域の方に活用していただけていると感じています。

2 事業の実施に関する事項

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
1) 障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターⅢ型事業					
なでしこ共同作業所の運営	月～金 10:00～15:00	なでしこ共同作業所	指導員 5、ボラン ティア 20、家族会 1	障害当事者、関 係者/約 100	5,496
2) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業					
特定相談支援事業書の運営	実施なし				
3) 公の施設の運営・管理に 関する受託事業					
障害者生活支援センターこ ら～れの運営	月～金 9:00～17:00	障害者生活支援セ ンター	職員 5、ボランテ ィア 20	障害当事者、関 係者/約 350	17,380
4) 障害保健福祉に関する啓発事業					
機関紙「なでしこだより」の発 行	年 2 回	なでしこ共同作業所	職員 1	会員・関係者/ 約 150	5
Facebook による情報発信	通年	なでしこ共同作業所	職員 1	約 100	
5) 地域交流に関する事業					
夏のふれあいカフェ	8/30	なでしこ共同作業所	職員 8、ボランテ ィア 9、家族会 4	障害当事者、家 族、地域住民/ 約 100	48
第 11 回ふくわたり・ ふれあい・ふくし祭り	実行委員会: 7/29、8/28、 9/21、10/9 当日:10/19	建部町公民館・ 岡山市北区役所建 部支所横駐車場	職員 10、実行委 員 20、協力団体 30	障害当事者、家 族、地域住民 350	
たけべのちっちゃな パソコン教室	年 11 回	建部町公民館	職員 1 名	地域住民 延べ 17 人	

3 実績報告

1) なでしこ共同作業所の運営

① 利用状況について

		2018 年度	2019 年度
開所日数		240 日	235 日
登録者数		10 人	11 人
利用延べ人数		2,036 人	1,902 人
一日平均利用人数		8.48 人	8.09 人
平均年齢		62 才	63 才
平均工賃	内職賃金	37,180 円	32,973 円
	賞与	18,590 円	16,486 円
	合計	55,770 円	49,459 円

② 作業内容について

作業内容	取引先
アルミ缶回収リサイクル処理作業	新菱アルミテクノ
ペットボトル回収リサイクル処理作業	環境開発事業協同組合
資源回収団体報奨金収入	岡山市
園芸用木製チップの選別作業	タマタイ産業
草とり・落ち葉かき等の野外作業	友愛の丘
箸入れ・風呂敷折り等の作業	昭和製箸
ブルーベリーの収穫販売	入野農園
手芸品・さをり織りの製作と販売	はっぼね桜祭り 吉田れんげ祭り めだかの学校環境祭り 旭水荘夏祭り 夏のふれあいカフェ たけべマルシェ ふるさと野菜市 たけべ八幡温泉委託販売 老人センター委託販売

③ 作業以外の行事等について

2019年8月30日	交流食事会を開催 夏のふれあいカフェを開催
2019年7月31日 2019年12月6日	こら〜れ・なでしこ合同クッキングに参加
2019年11月16日 2019年11月17日	建部町文化祭 (さをり織り体験ブース)
2020年2月20日	さくらの会・家族会・なでしこ共同作業所 合同バス研修(ひらたの市)

④ 支援について

- ・メンタルボランティアさくらの会による支援:延べ 319 人
- ・なでしこ家族会による支援:延べ 51 人

2)障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業
実施なし

3)障害者生活支援センターの運営・管理に関する受託事業

① 施設の運営・利用状況

内容	2018年度	2019年度
登録者数	13人	18人
関わり人数(実)	49人	66人
開館日数	244日	240日
利用人数(延)	2,698人	2,606人

1日平均利用者数	11.0人	10.8人
風呂の利用許可及び利用料の収納	1回(1人)	149回(実2人)

② 建物管理について

● 建物に関する不具合と対応

施設の区分	損傷、磨耗、不具合の状況	対応状況
自動ドア(外側)	開閉に不具合があった	部品取替え工事を実施 ※岡山市負担
自動火災報知機	経年劣化のため	取替え工事を実施

● 避難訓練(9月30日、3月25日)

③ 相談の状況

内容	件数	内容	件数
訪問	366	メール	13
来所相談	877	個別支援会議	24
同行	63	関係機関	641
電話・FAX	742	時間外対応	117

④ 基礎的事業

利用者活動	延べ参加人数	利用者活動	延べ参加人数
ボランティア活動(月2回)	19	オープンキッチン(自炊練習)	14
ミニ交流会(月1回)	50	ボードゲーム等	3
お楽しみ会(月1回)	41	カラオケ	21
食事作り(月2回)	90	合同クッキング(年2回)	24
ミニ作業(チップ選別作業)	77	忘年会(年1回)	6

※3月に予定していたプログラム・行事は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

⑤ ボランティアの養成及び育成・組織育成

内容	件数	内容	件数
家族サロン	1	地域交流に関わる取組	44
家族会	7	協議会・運営会議等	60
ボランティア団体	32	吉備中央町関係	12
教育機関との連携	2	人材育成	2
サービス向上のための 研修・所内会議	40	他事業所への指導等	1
広報・啓発	25		

※2019年2月20日(木) ボランティア・家族・当事者合同バス研修会を開催
ひらた旭川荘が定期的で開催している「ひらたの市」を見学した。

4) 障害保健福祉に関する啓発事業

① 法人会員数

種 別	2018 年度	2019 年度
正会員	39 人	38 人
賛助会員	66 人	68 人
合計(前年比)	105 人(-18)	106 人(+1 人)

② 機関紙「なでしこだより」の発送

号数	発行日	掲載内容
36	2019年8月18日	総会報告
37	2019年12月24日	ふふふ祭り報告、こら～れ紹介

③ Facebookによる情報発信

特定非営利活動法人なでしこ会 <https://www.facebook.com/npo.nadesiko/>
 障害者生活支援センター <https://www.facebook.com/28korare/>

④ その他

『月刊福祉』(2020年3月号)に掲載

社会福祉法人全国社会福祉協議会が発行する「月刊福祉」の「人と人をつなぐ実践」コーナーにふふふ祭りを中心とした当会の活動が掲載された。

5) 地域交流に関する事業

夏のふれあいカフェ

日 時	2019年8月30日(金)
場 所	なでしこ共同作業所
内 容	作業所を開放し、製品・カキ氷等の販売 地域の音楽サークルを招いての歌声広場
成 果	毎年恒例の行事となり、近隣住民約 100 名が作業所を訪れ、歌声広場やカキ氷を楽しんだ。普段は立ち入る機会の少ない事業所を開放することで、地域住民と作業所利用者が交流するきっかけとなっている。

第 11 回ふくわたり・ふれあい・ふくし祭り

実 行 会	4 回 (建部町公民館)
当 日	2019年10月19日(土)10:00~14:00 岡山市北区役所建部支所横駐車場・建部町公民館 ※雨天のため中止
協 力 団 体	約 30 団体
準 備 内 容	出店コーナー 参加団体による食べ物、飲み物、手作り作品の販売 オープニングイベント 建部はっぽね太鼓による演奏 来場者参加型 OKAYAMA!市民体操 ふふふ音楽広場 建部町公民館講座、地元出身・在住の音楽アーティストによる演奏

	<p>展示コーナー 地域の事業所・団体が活動をPRする掲示物やパンフレット配布</p> <p>情報ファイルの設置 地域のイベントチラシ等をファイルにして飲食テーブルに設置</p> <p>みんなで踊ろう！たけべよいとこ 建部町の愛唱歌と踊りの継承を行う</p> <p>福っ子ポスター展示会 福渡小学校児童の作成したイベントポスターを商店街と会場に展示</p> <p>会場ボランティア募集 福渡小学校・建部中学校に会場ボランティアを募集した</p> <p>福当たりビンゴ大会 商工会、ポイントカード会、会場出店者の協力によるビンゴ大会</p>
成 果	<p>小中学校に会場ボランティアの募集をかけ5名の応募があった。 商店街にイベント協賛を依頼し、12団体から協力を得ることが出来た。</p>

たけべのちっちゃなパソコン教室

教 室	8回
相 談 対 応	3回
参 加 者	参加人数延べ17人(実人数7人)
内 容	Microsoft Word・Excel、スマートフォン、パソコンのデータ移行
目 的	<p>地域活動が円滑に実施できるよう、縁の下の力もちである事務担当者をサポートする。事務局は「大変で面倒な仕事」と言うイメージで敬遠されがち。その原因は事務局＝パソコン操作で、パソコン操作が苦手な担当者が多いせいではないか。事務に時間や労力をとられて積極的な地域活動ができない、新たな取り組みに挑戦する余裕がないと言った課題を解決するためパソコン教室を開催する。</p>
成 果	<p>町内会の事務担当者からの相談を受け、作業が前進したケースがある。担当者が交代となる際のデータ移行を行い、引継ぎを支援できた。</p>

補足事項

ESD・建部町で食品ロスを考える会に参加

日 時	<ul style="list-style-type: none"> ● 打ち合わせ 13回 ● あるもん de 食事会 <ul style="list-style-type: none"> ① 2019年8月18日(土)福渡コミュニティハウス 参加者:24人 ② 2020年3月14日(土)建部中学校調理室→新型コロナウイルス肺炎の影響で中止 ● 建部町文化祭で展示説明 2019年11月16日(土)、17日(日) ● あるもん de 通信 1~2号の発行
目 的	<p>障害者支援の現場でフードバンクの必要性を感じる場面があり、公民館講座「フードバンクを知ろう」から発足し、建部の食を活かすことで地域活性化を目指す同会に参加している。</p>
成 果	<p>2019年10月には食品ロス削減に対する法律が施行され、フードバンク</p>

	や食品ロスという言葉が周知されてきた中で、問題解決に向けて住民一人一人が出来ることは何か、クイズやパネル展示で啓発を行った。
--	--

たけべ中学生だっぴ実行委員会に参加

日 時	<ul style="list-style-type: none"> ● 打ち合わせ 9回 ● たけべ中学生だっぴ(中学2年生対象) 2019年12月11日(水) 建部町文化センター 小ホール
目 的	<p>「だっぴ」とは、NPO法人だっぴが実施する中学生が大学生や大人と交流するキャリア交流プログラム。働き方や生き方などについてテーマに沿って自由に話し合う。</p> <p>2017年に第1回を開催した建部中学生だっぴで、参加した生徒から「積極的に人と関わりたいと思うようになった」「自分の未来は自分で変えられると思うようになった」といった感想が聞かれ、市街地の中学校と比べて人数が少なく、多様な価値観の人と関わる機会の少ない建部中学校の生徒にとって、体験格差解消につながる有効な打ち手と感じ、地域の大人たちで実行委員会を結成し継続開催を目指すことになった。</p>
成 果	<p>3回目となる今年度は岡山ESD推進協議会助成金と中学生からの参加費、前年度の繰越金を財源として開催した。NPO法人だっぴから開催ノウハウを引き継ぐことで開催費用を抑えることができています。</p> <p>参加した中学生からは「自分と違う意見があり、生き方も違ってそれぞれのエピソードが聞けてよかった」「自分の気持ちを言える所だった」と、自分と他人の考え方の違いを楽しんだ様子が見られた。また事前と事後にアンケートをとっており、「地域で起こっている問題や出来事に関心がある」「自分の行動により、自分の周囲の状況を少し変えられるかもしれない」という項目で「とてもそう思う」と答えた生徒が増加した。</p>

たけべ部実行委員会に参加

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ● たけべマルシェへの出店サポート ● マルシェの売上贈呈式に参加
目 的	<p>「たけべ部」は、「たけべ中学生だっぴ」を通して、自分の可能性や地域について興味をもった中学生有志が、自分たちの力でふるさと建部の未来をつくるための集まりである。</p> <p>たけべ部実行委員会は中学生の自己実現をサポートする。当会では地域交流事業の一環として職員派遣を行っている。</p>
成 果	<p>たけべ部1期生の「建部駅にプリクラ機を設置したい」という発案から、発展や時には妥協を経て、自分たちに出来ることからはじめようと駅舎の清掃がはじまった。</p> <p>今年度の2期生に思いは引き継がれ、「建部駅を活性化するならおもてなしの方法を考えよう」と、サービスの練習として自分たちの店を計画し、たけべマルシェでカレー販売を行った。売上の一部は、たけべマルシェ、建部町花火大会、たけべ中学生だっぴ、そしてたけべ部3期生へ寄付された。</p> <p>2期生の卒業前ミーティングでは、「今までに体験できなかったことができた」「たけべの良さが知れた」「(カレー販売で)商売を知ることが出来</p>

た」などの感想を聞くことが出来た。

岡山県公民館連合会主催「第 3 回 公民館職員が選ぶ！講座アワード」でグランプリを受賞した。